

| | | |
|----------|----------|----------------------------|
| 提出 順番 | No. 8 | 平成25年8月29日 午前・午後9時45分受領 |
|----------|----------|----------------------------|

平成25年8月29日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

| 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 |
|---------------------------------|--|
| <p>胃がんリスク検診 (ABC検診)について</p> | <p>国民2人に1人が発症し、3人に1人が死亡するといわれている「がん」。我が国は世界有数の「がん大国」である反面、国民の命を守るがん対策では、いまだに「発展途上国」といわれています。</p> <p>がんの中でも日本人に最も多い胃がん患者は21万人とされ、年間5万人の方が亡くなっています。胃がんには、特徴があって世界で亡くなる人の56%が日本、韓国、中国に集中しており東アジアの地方病とまでいわれています。</p> <p>そして、最近になって胃がんの原因が95%はピロリ菌と判明しました。つまり胃がんとは、ピロリ菌の感染が原因で起こるということであります。このピロリ菌の感染は、生まれて10歳位までに感染し、現在の感染率は10代では10%以下に対して50代では約80%の方が感染しているといわれています。</p> <p>そこでピロリ菌が引き起こす病気には、慢性胃炎、十二指腸潰瘍、胃ポリープ、萎縮性胃炎そして胃がんなどがあり感染している場合、除菌は早ければ早いほど良いといわれています。しかしながら、ピロリ菌の除菌については保険適応がされましたが、ピロリ菌の感染検査に関しては従来と変わらない状況です。最近では、胃がんの要因であるピロリ菌感染と萎縮性胃炎を血液検査で簡単に判定できるABC検診が早期発見に有効として注目を集めています。</p> <p>本町の胃がん検診は24年度については1,644人で、20.9%の受診率となっており、検診が行われている中</p> |

で一番低下しています。

そこで以下の点について伺います。

- ① 受診率が低下している要因をどのように認識し、対策を講じてきたのか。その成果と課題について。
- ② ピロリ菌ABC検診の有効性とピロリ菌の除菌について、どのような認識をもたれているのか。
- ③ ピロリ菌ABC検診を導入し、リスクのある人の精密検査で検診の精度を高めるべきと考えるがどうか。
- ④ 文科省では、26年度から小、中、高校で「がん」に関する保健教育を強化する方針が決定されたが、町内学校における「がん教育」の実施についての考えは。